

日本健康会議の「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」の採択について

1 日本健康会議とは

「日本健康会議」とは、少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体であり、経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、職場、地域で具体的な対応策を実現していくことを目的に発足された組織である。

第一期を2015年～2020年（目標達成年度）と定め、平成27年7月に開催された「日本健康会議2015」において「健康なまち・職場づくり宣言2020」が採択された。

本宣言において保険者協議会の役割として、「予防・健康づくりに向けて47都道府県の保険者協議会すべてが、地域と職域が連携した予防に関する活動を実施すること（宣言3）」とされ、東京都保険者協議会においても本宣言を実行するための各種取組を推進した。

2 第二期（2021年～2025年）日本健康会議の発足について

昨今の感染症の不安と共存する社会においても、新興・再興感染症や生活習慣病に負けない地域づくり・職場づくりに資するよう、コミュニティの結びつき、一人ひとりの健康管理、デジタル技術等の活用に力点を置いた予防・健康づくりを推進することを目的に、「第二期（2021年～2025年）日本健康会議」が発足された。

また、令和3年10月29日に開催された「日本健康会議2021」において、第二期日本健康会議の活動指針として、「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」が採択された。（宣言内容については、別添①参照）

3 「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」について

「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」の採択にあたり、目標数値(KPI)を決定するため、保険者協議会中央連絡会事務局を通じて厚生労働省から、令和3年8月1日時点の達成状況について事前調査があった。事務局にて回答(案)を作成し、保険者協議会会長と協議の上、別添②のとおり回答した。

なお、採択後、当該宣言の達成状況に関する調査は、令和4年度より実施される予定となっている。